



クローズアップ CLOSE UP

赤城ヒルをARで体験

10月17日・18日に赤城山ARヒルクライムの体験イベントを開催。画面に県道前橋赤城線の映像を映しながら、専用アプリとローラー台を取り付けた自転車をこぎました。コースの勾配と連動してペダルに負荷が掛かるため、汗をかいて上着を脱ぐ参加者も。レース本番は31日(土)、オンラインで開催します。

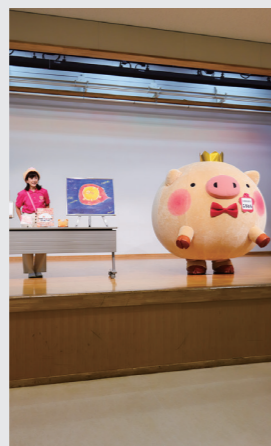


レース本番の関連イベントなど詳しくはこちらから



駅ならではの催し開催

JR前橋駅周辺の活性化のため、10月10日にまえきフェスを開催。蒸気機関車の石炭作業の疑似体験やブース展示などで、訪れた人は駅員との交流を楽しみました。また、まえばし物産まつりも同時に開催。市内のさまざまな名産品を目当てに、各方面から老若男女が訪れました。



ころとんおめでとう!

10月10日、「ころとんのお誕生日会」を本市公式YouTubeチャンネルで開催しました。会場には県内のキャラクターが駆け付け、踊りなどを披露。視聴する全国のファンやころとんアンバサダーに、誕生日を盛大に祝ってもらいました。



お誕生日の様子はこちらから



制度について

住所 敷島町2-1-6
(水道資料館は休館中)

構造になっていません。水道タンクの名称で親しまれ、現在も市民に水を供給しています。平成8年に国の登録有形文化財となった両者が隣り合って建ち並び一体となった姿は、最も前橋らしい景観ともいわれています。

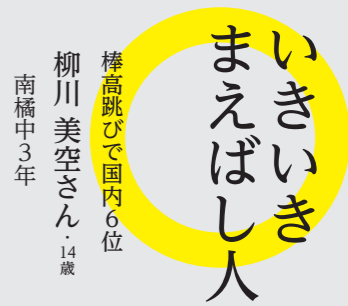


水道局公式キャラクターのタンク君



市民とともに歩み続ける敷島浄水場

CITY WATCHING



さらなる高みを目指して

10月1日、新潟市で開催された日本陸上競技選手権大会。柳川さんは女子棒高跳びで3桁90を飛び、6位に入賞した。「大会の2週間前、軽い捻挫をして不安でした。でも当日までには治って、いい記録が出て良かったです。大人に交じっての大会だったので、とても緊張しました」

小4から6年続けている棒高跳び。吉岡町にあるクラブの屋内施設などで毎週5日間、練習に取り組んでいる。「私の強みは飛ぶ前の助走です。部活動で100gもやっついて、短距離走には自信があります。飛んだ後の空中での技術はまだなので、その練習を頑張っています。また、どの競技もメンタルが大事です。前向きに、プラス思考を心掛けています」

競技へのモチベーションを支えるのは両親だと言う。「小学生の頃、父のレスリングの練習に参加していました。スポーツへの姿勢や、その頃に付いた筋力が今の競技に生きています。母には栄養面で協力してもらっていて、励みになっています」

中3で受験を控えている柳川さん。進学後も好記録を出したいと意気込んでいる。「これからもっと良い結果を残して、両親やコーチに恩返しをしていきたいです」



探訪! まえばしの風景

前橋市景観資産登録制度

Vol.4 敷島浄水場

国土都市計画課
☎027-898-6974